

分 野	項 目 名	
最重点要望事項	5 バス路線維持に関する支援の強化	P6
旧		新
(現状・課題)※修正箇所抜粋 札幌市内のバス路線は、運転手不足に伴う大幅な減便や路線廃止による市民生活への影響が大きな課題となっている。<u>運転手の確保に当たっては、運転手の待遇改善が重要であり、各バス事業者にて運転手確保に向けた取組を進めているが、各社とも経営状況が厳しいことから、札幌市としても、大型二種免許取得への補助や就労一時金の補助、労働環境改善のための施設整備補助など、事業者支援を実施している。</u>		(現状・課題)※修正箇所抜粋 札幌市内のバス路線は、運転手不足に伴う大幅な減便や路線廃止による市民生活への影響が大きな問題となっており、<u>運転手の魅力発信や自動運転の検討といった取組はもとより、喫緊の課題である運転手の待遇改善に取り組むことが極めて重要である。</u>運転手確保に当たっては、各バス事業者にて運転手確保に向けた取組を進めているが、各社とも経営状況が厳しいことから、札幌市としても、大型二種免許取得への補助や就労一時金の補助、労働環境改善のための施設整備補助など、事業者支援を実施している。

令和8年度 札幌市重点要望(5/15 調査特別委員会資料からの主な修正点 ②)

分 野	項 目 名	
1 子ども・若者	6 学校施設整備に係る国庫補助の拡充及び財源の確保	P14
旧	新	
公立学校施設整備費国庫負担金等における補助単価の改善、算定割合の引上げ及び財源の確保を行うこと。 学校施設環境改善交付金における冷房設備整備に係る計画事業量に応じた予算の確保、実勢単価に見合った補助単価の引上げ、算定割合の引上げ、高等学校等への対象範囲の拡大を行うこと。 学校施設環境改善交付金について、自治体の要請に応じて、本省繰越予算ではなく事業年度の当初予算における交付金で採択すること。	<u>学校施設環境改善交付金について、自治体が学校施設整備を計画的に進めることができるよう、計画事業量に見合う十分な財源を確保した上で、速やかな採択を行うとともに、自治体の要請に応じて、本省繰越予算ではなく事業年度の当初予算における交付金で採択すること。</u> 公立学校施設整備費国庫負担金等における補助単価の改善、算定割合の引上げ及び財源の確保を行うこと。 学校施設環境改善交付金における冷房設備整備に係る計画事業量に応じた予算の確保、実勢単価に見合った補助単価の引上げ、算定割合の引上げ、高等学校等への対象範囲の拡大を行うこと。	

令和8年度 札幌市重点要望(5/15 調査特別委員会資料からの主な修正点 ③)

分 野	項 目 名	
3 安全・安心	4 上下水道施設の老朽化対策に係る国費支援の着実な実施	P19
旧		新
札幌市では、1970年代から1980年代にかけて集中的に上下水道施設の整備を進めたため、今後、<u>改築事業費の増大が見込まれる。</u> これまで、<u>延命化等により計画的に改築を進めているところであるが、埼玉県八潮市において下水道管の破損に起因する道路陥没事故が発生するなど、管路の老朽化対策は喫緊の課題となっている。</u> そのため、<u>老朽化対策の加速化に向け、これまでの支援継続に加え、管路に対する支援対象の拡大など、財政支援を着実に講じること。</u>		札幌市は、1970年代から1980年代にかけて集中的に上下水道の<u>処理施設や管路の整備を進めたため、今後、老朽化した施設が急増する。</u> <u>特に管路については、10年後には、国が定める耐用年数を超える水道管が現状の概ね2割から4割に、下水道管が概ね3割から7割に達し、老朽化施設が加速度的に増加していく。</u> これまでも、<u>延命化等を行いながら計画的に改築・更新を進めてきたところであるが、老朽化した管路が急増することで、漏水や道路陥没などの事故の増加や、本年1月に埼玉県八潮市で発生したような大きな事故につながる</u><u>ことが危惧される。</u> そのため、<u>処理施設への支援継続に加え、管路に対する対象範囲の拡大及び交付要件を緩和し、老朽化対策の加速化に向けた財政支援の拡充</u>を着実に講じること。